

特別
企画展

いざ立山へ！

鉄道にみる立山観光……
会期 二〇一三年七月十六日(土)～九月四日(日)

立山自然観察園部分 ― 立山黒部観光



急行「立山」
→ 立山 → 黒部
― 国鉄黒部線



特急「アルペン号」
― 富山地方鉄道



特急「雷鳥」
― JR西日本 国鉄

天空を目指し、立山の絶景に出会う……

富山県立山博物館

〔開館時間〕午前九時三〇分～午後五時まで（入館は午後四時三〇分まで）

〔観覧料〕
「一般」二、〇〇円 「大学生」一、〇〇円
高校生以下の児童・生徒、障がい者等の観覧料は無料です。
学校教育、社会教育で利用する児童・生徒の引率者の観覧料は申請により無料となります。

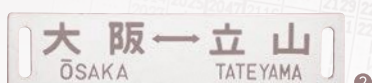
令和4年度前期特別企画展

いざ、立山へ！ —鉄道にみる立山観光—

立山黒部アルペンルートに代表される立山の観光開発は、昭和27年(1952)の富山県総合開発計画により本格的に始まりました。そして、昭和29年8月13日には立山ケーブルが開通します。その後、室堂までの道路建設や、黒部ケーブルカー、立山ロープウェイ、立山トンネルの開通を経て、昭和46年6月1日には富山県側の立山駅から長野県側の扇沢駅に至る全線が開通しました。また、前年の昭和45年には、大阪からの急行立山が、名古屋からの急行むろどうと名古屋鉄道の急行北アルプスが富山地方鉄道立山駅まで乗り入れています。

本展では、標高2,450メートルの雲上へと人々を誘うアルペンルートを中心に、主に戦後の立山観光と立山への旅客輸送到に活躍した鉄道の軌跡をたどります。

主な展示資料



- ①ヘッドマーク 急行「立山」
- ②サボ(行先表示板)「大阪 立山」「大阪 糸魚川(富山 糸魚川 快速)」
- ③ヘッドマーク「アルペン特急 立山」
- ④サボ(行先表示板)「宇奈月温泉 立山」
- ⑤連絡急行券「新名古屋→下呂 45.7.15 新名古屋発行」「新名古屋・高山線・立山北アルプス号 直通記念 45.7.15 名古屋鉄道」
- ⑥パンフレット「立山」昭和31年(1956)
- ⑦パンフレット「中部山岳国立公園 立山へ!! 黒部へ!!」
- ⑧立山/黒部 アルペンルート全通 記念入場券 1971.6.1 金沢鉄道管理局(富山駅普通入場券)
- ⑨パンフレット「沿線案内 地鉄電車」昭和36年(1961)頃
- ⑩乗車券「(立山開発鉄道) 室堂から宇奈月温泉ゆき 室堂駅発行 48.7.8」

※すべて個人蔵

展示の見どころ

- (1) そうだ、立山行こう！ ・戦前の動向 ・富山と観光
- (2) 鉄道がやってきた！ ・富山の鉄道の歴史 ・立山と鉄道
- (3) 立山を開発せよ！ ・立山山岳地域の観光開発 ・立山黒部観光の歴史
- (4) いざ、立山へ！ ・直通列車の乗り入れ ・観光の今日

【担当学芸員解説会】

7月16日(土)、8月13日(土)、8月27日(土) いずれも14:00~

【会期中の休館日】月曜日 (ただし、7月18日、8月15日は開館)

会場：富山県[立山博物館] 展示館1階 企画展示室

主催：富山県[立山博物館]

共催：北日本新聞社

後援：北日本放送、チューリップテレビ、富山テレビ放送、NHK富山放送局、Net3

富山県[立山博物館]

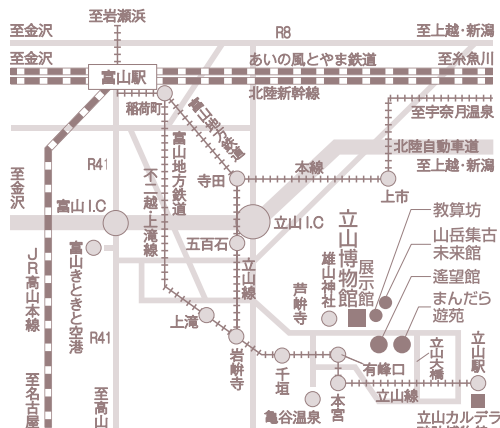
〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦崎寺93-1

電話076-481-1216 FAX076-481-1144

<https://www.pref.toyama.jp/1739/miryokukankou/bunka/bunkazai/home/index.html>



交通案内



【電車の場合】富山地方鉄道立山線「千垣駅」下車後、徒歩(約2km)
※日曜日を除き、千垣駅から町営バス運行

【車の場合】JR富山駅から約45分/富山地方鉄道「立山駅」から約15分
北陸自動車道「富山IC」から約35分/「立山IC」から約30分